

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2021 実績	年度	2022	2023	2024	2021～2023年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
介護予防教室の開催、介護予防サポーターの育成を継続的に行い、またリハビリ教室での一定期間・定期的な支援からの憩いの場づくりを展開する。	身近な場所で気軽に通いの場として交流を図りながら、介護予防への取り組みを続けることで自立した生活を送ることができる。		目標	46箇所	47箇所	43箇所	(2021) 自主的に活動を行っている団体に対してリハビリ教室を開催し、憩いの場づくりへつなげた。 (2022) ほとんどの自主活動グループが感染対策をしながら継続して介護予防教室を開催し、身近な場所での憩いの場づくりの確保に努めた。 (2023) コロナが5類に移行したが感染対策を行い、市民団体の自主活動支援の一環として、介護予防教室を開催した。	△	参加者の高齢化や減少から、存続が難しくなっている場所も出てきているが、介護予防教室が市民の介護予防や健康管理に役立てていけるものとなるよう、今後も地域への支援を継続し、若い世代への参加も働きかけていけるよう努める。
		45箇所	実績	47箇所	44箇所				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

※ 行数が不足する場合等は、適宜追加してください。